

No. 3001

2021-2022年度

会 長 松村 秀一  
幹 事 川口健太郎  
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして  
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年4月21日 第3002回

- ・外部卓話：末吉亜矢氏（三商(有) 代表取締役）  
「女性目線で地域活性化に貢献する」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和4年4月28日 第3003回

- ・3000回例会達成記念例会（於：橋家）
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第3001回例会）

開催日 令和4年4月7日(木)

点 鐘 [松村君]

今月の誕生・結婚祝 [辻親睦活動委員]

会員誕生：辻恭治君(4/9)、児嶋正人君(4/16)  
嶋田恵君(4/16)、橋爪誠治君(4/19)  
脇村重徳君(4/28)



(左から) 嶋田君、辻君、脇村君、橋爪(誠)君

配偶者誕生：木本真理さん(4/23)

結婚記念：脇村重徳君(4/5)、丸山芳孝君(4/10)  
應地正章君(4/20)



木本君



脇村君

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：本日のクラブフォーラムよろしくお願ひします。  
川口君：本日のクラブフォーラム皆様宜しくお願ひいたしま  
す。  
上野山(捷)君：本日のクラブフォーラムよろしくお願ひ致し  
ます。  
橋爪(正)君：久しぶりに例会場の出席です。生の例会は  
良いですね。早くコロナの終息を祈ります。  
上野山(栄)君：桜吹雪の舞う例会ですね。今日の良き日  
にクラブフォーラムよろしくお願ひします。  
中元君：本日のクラブフォーラムよろしくお願ひします。  
橋爪(誠)君：クラブフォーラム開催ご苦勞様です。本日よ  
ろしくお願ひいたします。  
木本君：本日のクラブフォーラム宜しくお願ひ致します。  
菅原君：本日のクラブフォーラム宜しくお願ひします。  
嶋田君：クラブフォーラムよろしくお願ひします。  
辻君：戦略計画委員会クラブフォーラム発表の皆様よろし  
くお願ひします。  
脇村君：本日のクラブフォーラムよろしくお願ひします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員数21名  
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [松村会長]

「自然災害伝承碑」

日本は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件  
から、昔から数多くの自然災害に見舞われてきました。そ  
して被害を受けるたびに、わたしたちの先人はそのときの  
様子や教訓を石碑やモニュメントに刻み、後世の私たちに  
遺してくれました。

その一方、平成30年7月豪雨で多くの犠牲者を出した地区では、100年以上前に起きた水害を伝える石碑があったものの、「石碑があるのは知っていたが、関心を持って碑文を読んでいなかった。水害について深く考えたことはなかった」。(平成30年8月17日付け中国新聞より引用)という住民の声が聞かれるなど、これら自然災害伝承碑に遺された過去からの貴重なメッセージが十分に活かされているとは言えません。



これを踏まえ国土地理院では、災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、これら自然災害伝承碑の情報を地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。(国土地理院のホームページより引用)

有田郡市にも3カ所の自然災害伝承碑があります。湯浅町の深専寺山門横の「大地震津波心え之記」(安政南海地震1984年12月24日)地震があれば火の用心をして深専寺の山門の前を通り天神山へ逃げなさい。と書かれています。

広川町広(広村堤防内)「感恩碑」宝永地震(1707年10月28日と安政南海地震)先人の偉業に思いをはせ愛護することで将来の災害に備えることが出来るのではないかと。1933年建立(89年前)

広八幡神社境内「浜口梧陵碑」安政南海地震 浜口梧陵が田に重ねてあった稲むらに火をつけて周りを明るくした。人々はそれを頼りに高台に逃げることができ、津波に巻き込まれずに多くの人が助かった。

さて、89年前に感恩碑は広村堤防に建立された。その数十年後に埋め立て事業が計画され、広村堤防の外側に埋立地が造成され、公共建築物と分譲地が作られました。結局、過去に何百人、何十人もの人が亡くなった災害を忘れてしまうのです。

話はそれますが、堤防の内側に物故会員の浦元信さんの自宅があります。母屋と離れの隠居屋と文書庫が国の文化財に昨年登録されました。

橋爪正芳さんに有田川町や有田市内にも自然災害伝承碑がないか尋ねますと「あるよ」とのこと。日根藤六(ひねとうろく)と望月太左衛門(もちづきたざえもん)の石碑があるそうです。

自然災害伝承碑に登録してもらい防災教育などに生かされれば好いなと思います。

## 幹事報告

〔川口幹事〕

本日の幹事報告4件ございます。

- ・4月ロータリーレート 1米ドル/122円
- ・米山梅吉記念館より館報春号が届いております。
- ・例会終了後、第10回定例理事会を開催致します。
- ・地区立法案の議事録と決議事項の掲示案内



## クラブフォーラム

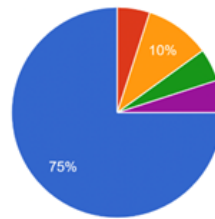
「より良いクラブ運営を目指すために」

戦略計画委員会 上野山栄作

有田ロータリークラブの最大の問題点は会員数の低下であると考えます。単に会員数が少なくてもバランスの良いクラブ運営は出来ます。むしろ問題なのは会員数50名以上のクラブであった状況と同じ組織の形態であるということです。一部の会員への負担が多く、充実した例会や新たな事業への取り組みが難しくなっています。結果的に社会へのアピール度も少なく、会員の維持にも影響していると考えます。身の丈にあった(会員数に合わせた)クラブ運営を考えなければならない時期だと思えます。

### アンケートの結果

委員会組織の在り方を見直し、現状の会員数でも、クラブ運営を無理なく維持する方法を考えています。有効的な施策をお選び下さい。

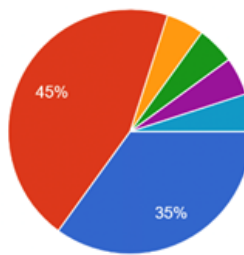


- 委員会組織の枠組みを簡略化する
- 現状の委員会で運営する
- 会員増強に力を入れる
- 委員会を簡略化すると委員長だけが奮闘することになりませんか?
- 会長に一任

増強に力を入れるのも当然ですが、組織を簡素化することに望む会員が75%

### アンケートの結果

会員増強の有効的なアイデアをお選び下さい。

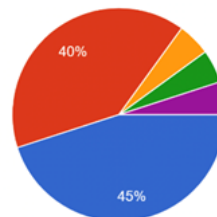


- 対外的にもっと積極的に有田ロータリークラブの良さを発信していく
- 会員候補をピックアップして、地道に声をかけ続ける
- 必要なし
- とにかく複数人で候補者に会いに行く
- 若手会員が中心となって、若手を勧誘していただきたい。
- 会長に一任

増強はもっとロータリークラブの良さをPRし地道に会員増強を行う

### アンケートの結果

ロータリーの行動力を、対外に発信し続ける重要性が、広報の役割で高まっています。今後の広報の在り方についてご意見をお聞かせください。



- SNSなどを活用して地域や、全世界に発信し続ける、行動力に期待する
- 発信に値する、中身ある奉仕に期待する
- 広報は会員増強には結びつかないと思う
- 特に力を入れる必要なし
- 会長に一任

公共イメージは中身のある奉仕を行い、SNSなどを活用する



アンケートの結果

現状の委員会組織で、全会員の積極的な参加を促されていると思いますか？



クラブ運営が一部の会員に偏っているとほぼ全員が思っている85%

アンケートの結果

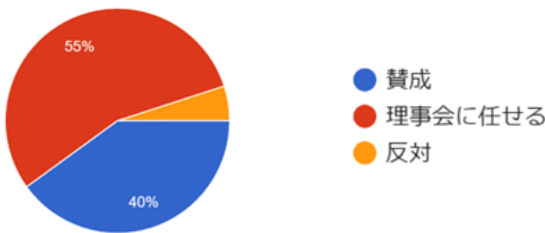
当クラブの奉仕事業について、お答えください。



奉仕事業については財団を活用した事業に期待している会員も意外に多い

アンケートの結果

2640地区や、他地区のクラブが、RI推奨の委員会組織モデルに変更をしています。当クラブも変更すべきだと思いますか？ご意見をお聞かせください。



委員会組織を変更について理事会に一任する方と賛成の方を合わせて95%

アンケートの結果

現状の5大奉仕部門に分かれている委員会が毎年同じような事業を続けていることについてどうお考えでしょうか？ロータリーの持続可能性と一緒に考えいただき、ご意見下さい。

会員からアイデアを募り新たな事業をするべき。

委員会の開催。現状は、委員長が事業を作成している。

年度単位で特徴を持った事業を行った方がよい。継続すべきことは継続する必要があるが、去年行ったので今年も同様の事業の組み立てはしない方がよい。地域の方と共にできる事業を考えて権限委譲していれば最高だと思う。

持続（複数年）事業と単年事業（その年でなければできない事業）はどちらも必要かと思いますが、いずれにせよ会員数が少ない現状では変化のある事業を行うことが難しくなっているように感じます。

同じ事業を選んだのはそれなりの理由があるはず

アンケートの結果

現状の5大奉仕部門に分かれている委員会が毎年同じような事業を続けていることについてどうお考えでしょうか？ロータリーの持続可能性と一緒に考えいただき、ご意見下さい。

新しい取り組みをやるかどうかは別として、一度すべてを見直す（再考）時期かと思えます。

最近ではコロナの影響でほとんどの事業ができていないように思います。今は出来る事からしっかりやっていければと考えます。

会長方針で、全体で1~2程度の事業数に絞っても良いと思う。

選択と集中及び会員自身が考える機会が必要。

奉仕の携わる内容で、長期的サポート、中期的、短期的と変わってくると思います。他団体を巻き込みながら奉仕に携わる機会が増えることが、クラブの理想だと思います。

全部門委員会が1つとなり1部門委員会に注力していく。

アンケートの結果

賛成にお答えの会員の皆様へのご質問です。変更後、気を付けてもらいたい希望点や、変更後の気掛かりな点があれば、ご記入下さい。

組織を変革しても運営自体が軽減させることはないと思うので、できるだけ多くの会員が運営に関われる様な委員会組織にしていただきたい。

あまりにドラスティックな変更は古くからの会員に抵抗となる可能性があるかもしれない

毎年組織図を見直して、必要であればRIが規定する範囲内で改良を加え、より良いものにして行ってほしい。

これまでの慣例見直しと全委員会が機能的になるよう勉強会が必要だと思います。

新体制でも積極的に奉仕活動が行えるクラブであることを希望します

アンケートの結果

理事会に任せるとお答えの会員の皆様へのご質問です。変更後、気を付けてもらいたい希望点や、変更後の気掛かりな点があれば、ご記入下さい。

RI推奨の委員会モデルを参考に有田RCの考えも加えれば思うからです。「よそはよそ、うちはおうち」

変えてよいものと悪いものをはっきりと選別して欲しい。

皆で協力しながら一人に集中することのない組織委員会にしてもらいたい

変更点を詳細に説明し、なぜ変更なのかを理解してもらう

反対にご意見頂いた会員の皆様へご質問です。何が反対要因と考えられますか？具体的にお答えください。

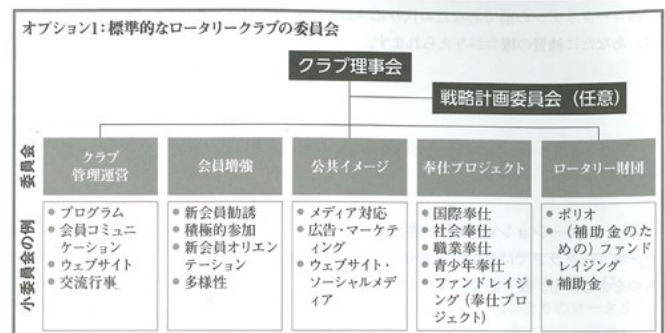
自クラブに合った方法が良い

先日のアンケート結果をご覧ください。

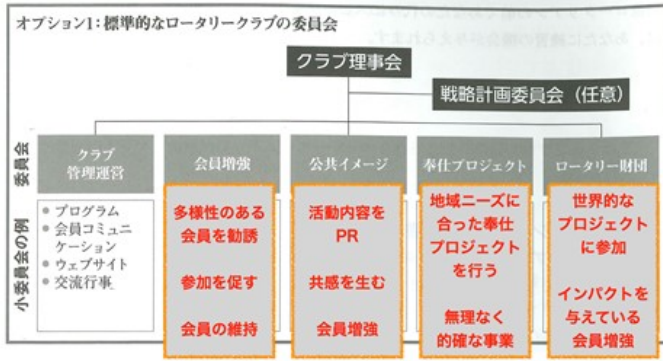
以上の様な結果から、一度、クラブ委員会組織について見直しが必要であると考えます。

一部の会員に負担が偏ることなく、全ての会員がやりがいの持てるクラブ運営が望まれています。

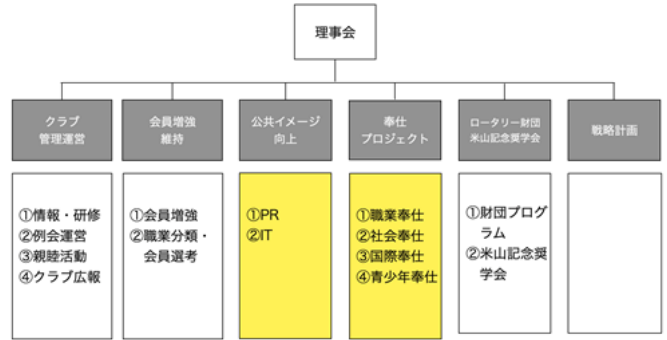
国際ロータリー推奨のクラブ委員会組織



国際ロータリー推奨のクラブ委員会組織



変更しようとするクラブ委員会組織



会員の皆さんに委員会組織の変革に不安もあると思いますが、クラブの健全運営のために是非、変化を受け止め挑戦することにご協力いただきたくお願いいたします。問題があれば、その都度意見を吸い上げブラッシュアップを図りたいと考えています。

CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の委員会組織をご覧ください。当クラブのウイークポイントが補われる組織だと思います。奉仕事業が統合されることや公共イメージが新設することや会員増強が独立すること以外は、以前の委員会を当てはめて役割が明確になるので無理なく移行できると考えます。

閉会・点鐘 [松村会長]

2022-2023年度のための地区研修・協議会  
 日時：2022年4月17日（日） 場所：国立大学法人 和歌山大学

